

2020年3月19日

プレスリリース
報道関係者各位

音楽で希望を。

～占領に苦しむパレスチナに、楽器を支援しました～

「貧困と紛争地域の子供や青少年に楽器を学ぶ機会を与えること」を目的に、NPO法人アースキャラバン（京都市東山区）は、2020年2月、ナブルス市のパレスチナの難民キャンプと音楽学校で使う楽器購入を支援しました。



中東のパレスチナ自治区は、70年以上、イスラエルによる占領状態が続いています。

土地や水、人々の尊厳が奪われ続けていますが、その実情がテレビなどで報道されることはほとんどありません。

私たちが現地へ赴いた時、たくさんのパレスチナ人から、「ここで見て聞いたことを、日本の人々に知らせたい」という切なる声を何度も聴きました。

私たちはその言葉を胸に、この「Music for Hope」プロジェクトを立ち上げました。この活動によって、一人でも多くの子どもたちが、未来に希望を持ち、自分の才能を伸ばし、笑顔になることを願っています。

どうか、この件につきましてご取材頂き、報道の力でたくさんの方に、パレスチナの今を知らせていただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人アースキャラバン 概要

2009年に設立し、バングラデシュの少数仏教徒民族の小学校を3つ運営し、パレスチナ・ガザ地区には脱塩浄水器を設置するなどの支援活動を行っています。

2015年より毎年、「原爆の残り火」を携えて世界各地を巡り、2019年3月にはバチカンでローマ教皇に謁見。核廃絶の象徴として、これを吹き消してもらいました。

同年9月末からは、人類の平和の祈りを1つの火に込める“『希望の火』プロジェクト”も開始し、現在に至っています。

連絡先：NPO法人アースキャラバン（京都市東山区元町367-2）

担当：馬場 山往

Tel / 090-3869-7047 Mail / sanno.bamba@taosangha.com

ウェブ：<https://www.earth-caravan.com/>（『NPOアースキャラバン』で検索）

Music for Hope ～音楽で希望を～

NPO法人アースキャラバン

Music for Hope プロジェクトについて

Music for Hopeプロジェクトの目的は、音楽や楽器を入手できない貧困と紛争地域の子供や青少年に楽器を学ぶ機会を与えることです。

使用済みの楽器と、学校・NGO・難民キャンプで使う新しい楽器を購入するためのお金を集め、子供たちに教える音楽の先生を見つける手助けをします。私たちは、子どもたちが自分の能力を伸ばし、才能を発揮することのできる音楽プロジェクトを支援します。

音楽は心の普遍的な言語であり、国家と宗教の境界を越えて人々を結びつけます。

音楽は言葉を越えた感情や感情を表現します。

音楽はコミュニケーションの手段であり、一体感を促進します。

音楽は平和を生み出します。

私たちは音楽を通じて、このような世界が広がることを願い活動しています。

これまでの活動

2018年よりパレスチナにて、楽器の寄贈や支援協力を行ってきました。

- ・ ナブルスの難民キャンプに楽器を寄贈
- ・ 国立エドワード・サイド音楽院ナブルスのアウトリーチ・プログラム支援企画への協力
- ・ ベツレヘム近くのデヘシェ難民キャンプの若者支援センターに楽器を寄付し、音楽ワークショップを行いました。
- ・ ナブルスの難民キャンプで、子供たちに楽器をプレゼントし一緒に交流しました。

そして2020年、アースキャラバンの支援により、プロジェクトホープを通じて、ナブルスの音楽学校に楽器をプレゼントしました。

子どもたちが音楽に触れ合い、楽しみ、そして新しい自分の可能性に出会うことを願っています。



*写真は、今回ナブルスで購入した楽器と音楽教室の様子です